

## 「プラットイーズグループ セタウェビナー」開催のお知らせ

株式会社プラットイーズ（東京都港区浜松町 1-7-3 代表取締役社長：瀧一郎）と株式会社プラットフォームクス（東京都江東区東陽 7-5-8 代表取締役社長：村松俊昭）は、「IP」「サイネージ」「CM 考査」をテーマにしたオンラインセッションを7月7日（木）に開催します。

本イベントはどなたでも無料でウェビナー（ZOOM）にてご視聴が可能です。

### 【イベント概要】

◆イベント名：プラットイーズグループ セタウェビナー

◆開催日時：7月7日（木）11：00～16：40

◆プログラム（仮） ※登壇者名は順不同・敬称略

①11：00～11：40 『コンテンツの利活用に関する CATV 事業者と衛星放送事業者の事情』

Tver でのリアルタイム配信も始まったが、CATV や衛星放送は1歩出遅れている感がある。IP 化の具体的な定義、IP 化後のコンテンツ利活用案は様々。昨年「配信サービスの将来」のタイトルで登壇いただいたオプテージ 和田様を再度お迎えし、この1年間の進捗をお聞きすると共に、スカパー JSAT 一之瀬様にはスカパー東京メディアセンターの HUB 化や最新設備事情を語っていただく。

登壇者) 株式会社オプテージ 技術本部 技術開発部 光 TV 技術開発チーム 和田 到大

・スカパー JSAT 株式会社 メディア事業部門 メディア技術本部 プラットフォーム技術部  
配信システムチーム長 一之瀬 明

②13：00～13：40 『広告業務はこう変わる。スマート・アド・セールス、そしてサイネージ』

放送局が今なぜスマート・アド・セールス（SAS）に注目するかを「枠ファインダ」運営事務局のビデオリサーチが解説するとともに、広告媒体として急成長するデジタルサイネージの運用など、変化を遂げる「広告業務」の世界を語る。

登壇者) 株式会社ビデオリサーチ 統括・ソリューションユニット サービス推進グループ

リーダープランナー 平野 竜太郎

③14：30～15：10 『CM 考査業務におけるアウトソースの可能性』

放送局にとって CM 考査は媒体価値や視聴者からの信頼の維持には必要不可欠だが、業種・業態の広がりや出稿数の増加に伴い作業負担は増すばかり。考査の局間共有や、共同機関化の可能性は？ 実際に地上波放送局が参加した一次考査共有化トライアルの結果も交え、日々現場で考査に携わっている担当者を招き、意見を伺う。

登壇者) 熊本朝日放送株式会社 プロフィットセンター 編成部長 和田 有希

④16：00～16：40 『業界の次の5年、10年、その先について』

プラットイーズグループが想像／創造する業界のこの先の未来図について、フリーディスカッション。登壇者それぞれのバックボーンや今の仕事の目線から、多角的に意見交換・検証を行う。キーワードは「IP」・「サイネージ」「CM 考査」を予定。

- 登壇者) ・株式会社オプテージ 技術本部 技術開発部 光 TV 技術開発チーム 和田 到大  
・株式会社ビデオリサーチ 統括・ソリューションユニット サービス推進グループ  
リーダープランナー 平野 竜太郎  
・熊本朝日放送株式会社 プロフィットセンター 編成部長 和田 有希

◆参加費：無料

◆参加方法：6月23日（木）から、プラットフォーム WEB サイトのイベントページにて参加申し込みを受け付けます。ご入力されたメールアドレス宛にイベントの参加情報をお送りします。

◆イベントページ <https://www.plat-ease.co.jp/event>

本件に関するお問い合わせ

株式会社プラットフォーム 広報担当 南

Tel. 050-3538-3456

E-Mail : event@plat-ease.co.jp

WEB サイト : <https://www.plat-ease.co.jp/>